

## 1 学年通信

## Practice Makes Perfect

担当：杉浦俊

## ◎ 2 学期スタート！ 一進路について考えましょうー

夏休みもあっという間に終わり、2 学期が始まりました。2 学期は自身の進路について向き合う学期となります。どの科でもコース選択（クラス選択）の機会があり、ここでの選択は大学受験の幅を限定したり、就職か進学かという大きな岐路に影響したりします。みなさんの中には、「まだ高校 1 年生なのだから進路について問われても、不透明なことが多くて答えに困る。」とか「将来何をやりたいのかわからないから、進路選択もまだできない。」等と考える人も多いかと思えます。自分の進路について焦って答えを出す必要はありませんし、人生は紆余曲折ですのでどんなに一生懸命考えたとしても考えた通りに進まないのが世の常です。時には無為に過ごす時間が自分を構成する重要な一部となることもあるでしょう。

ただ、わからないということが考えなくていいことにならないように注意しなければなりません。常に自分が何をしたいのか考え続けることが大切です。

- 将来何をしたいのか
- 何をしている時が楽しいのか
- 社会のために何ができるか
- 自分は何者か

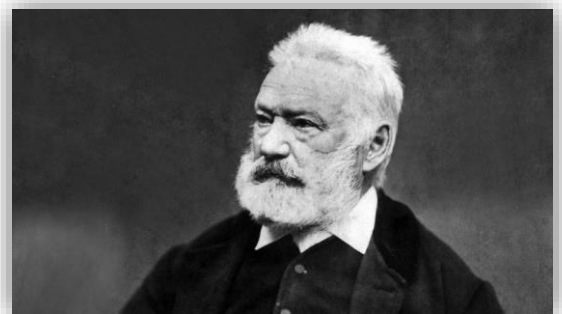


将来のことを考えるということはつまり、自分を省みることなのかもしれません。偉そうにかく言う私も、みなさんと同じ高校 1 年生の頃に将来について考えられていたかという点と全くそうではなかったと思えます。どちらかと言うと、現状が変わること（大人になっていくこと）があまり好きではなく、将来について考えることからは意図的に目を逸らしていた節があります。当時の担任の先生から、「**将来の目標が見つからないときほど、見つかった時のためにできることは全部やっておくべきだ**」と声を掛けられたことは印象深く心に残っています。

今日から始まる 2 学期が、みなさんの将来に向けた日々となるようにこの言葉を送ります。

「未来」は、いくつもの名前を持っている。  
 弱き者には「不可能」という名。  
 卑怯者には「わからない(不可知)」という名。  
 そして勇者と哲人には「理想」という名、である。

by ヴィクトル・ユゴー  
 (フランスの詩人・小説家 「レ・ミゼラブル」の著者)



焦らなくてもいいので、自分の将来について考え続けましょう。できれば将来の自分の姿を想像してワクワクできれば素敵だと思います。

## ◎9月の月訓は「礼儀」です

「礼儀正しい」の意味について、考えたことはありますか？ そもそも「礼儀」とは、「人間関係を築く際や、社会の秩序を維持する上で守るべきこと、作法」という意味です。では、礼儀正しい人とはどのような人でしょうか。

お礼や挨拶がきちんとと言える

正しい言葉遣いが出来る

適度な距離感が分かっている

落ち着きがある

相手の立場になって考えることが出来る



個人的には、どんなに礼儀正しい挨拶や言葉遣いをする人であっても、相手によって態度を変える人は信頼が得られないと思っています。皆さんにはそのような人になって欲しくありませんし、社会で愛される人であって欲しいと願っています。

## ☆9月（長月）の行事予定・月訓『礼儀』

1	木	第2学期始業式 身だしなみ指導	16	金	
2	金	課題試験 学習支援教室開始	17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	敬老の日
5	月	課題試験 身だしなみ指導（再）	20	火	月曜日授業 全校朝礼
6	火	執行部合同会	21	水	
7	水		22	木	
8	木		23	金	秋分の日
9	金	公開授業	24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	文化祭振り替え休日
12	月	チャレンジ0週	27	火	
13	火	常任委員会	28	水	
14	水		29	木	
15	木		30	金	文化祭

## ☆コラム『Manners Makes the man』

2014年に上映された『キングスマン』（英国）という映画の中で「マナー（礼儀）が人を作る（Manners makes the man）」というキーワードが出てきます。主人公は師である筋金入りの英国紳士スパイから、たびたびこの言葉を叩き込まれます。「生まれや育ちは関係ない。きちんとした言葉遣い、丁寧で敬意のあふれる挙動こそが、その人の性格や能力を作り上げる。礼儀や作法、マナーをバカにしてはいけない、疎かにしてはいけない」。「礼儀が人を作る」し、「作法が関係性をつくる」のだ、ということです。

9月の月訓は「礼儀」です。皆さんも今一度「礼儀」について考えてみましょう。

~~~~ Team Blue-1 Manager ~~~